

○本技術の内容

個々の物品にRFIDタグを付け、その容器の蓋の開閉による電波の受信状況で、物品の状況を推測

○困りごと

- ・流通時の物品の保管環境が守られたかがわからない（医薬品の保冷箱など）
- ・流通過程で、物品が抜き取られたかどうかなどの検知できない

○従来のもの

流通管理のためにRFIDタグを付けただけでは、

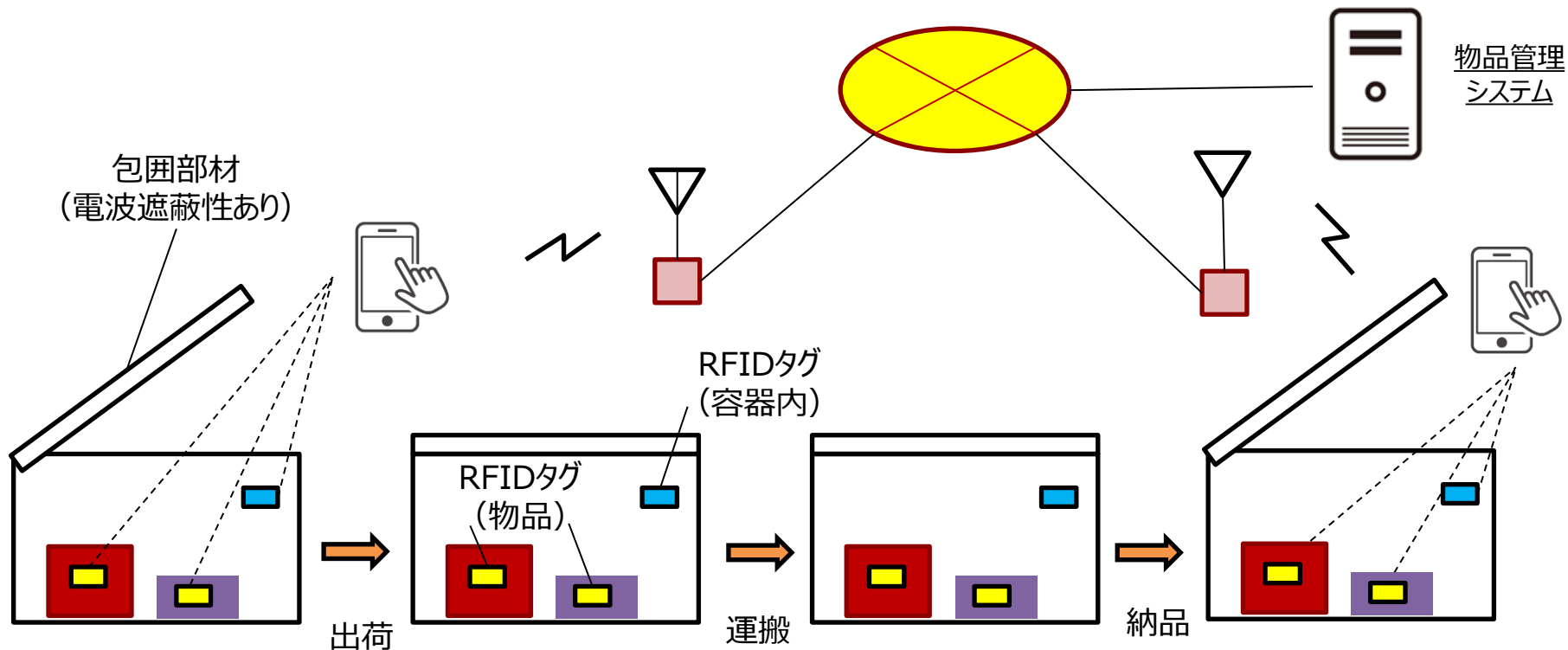
- ・蓋が開けられたり、物品の保存状態が変わったことはわからない
- ・どの箱に入っていたか、箱の中身の管理まではできない。

○この技術のメリット

- ・途中で箱が開いたことを把握でき、保存環境が変わった可能性がわかる
- ・箱の収納時と開梱時で、同じものが揃っているかわかる

7. 容器の開閉とRFIDによる物品の状態把握

物品を安心・安全に配送します！



①箱の中身を確認

物品が間違えた箱に入っていないかわかる

②途中の環境変化を確認

蓋が開いているときだけ、電波が受信可能（逆転の発想）
→蓋が途中で開いていれば、保管環境変化の可能性あり

①出荷時と同じ物品を確認

途中で中身が減ると、開梱時に受信できないことでわかる

○応用場面

- ✓ 冷凍用品の配送・・・蓋の開閉を管理、物の管理
- ✓ 医薬品の配送・・・温度（蓋の開閉時間）管理
- ✓ 冷凍庫の管理・・・冷凍品の鮮度維持

○展開先候補

- ✓ 配送業・・・・・・・・・・クール宅配便、置き配
- ✓ デリバリーサービス・・・発注と商品の照らし合わせ
- ✓ 医療・・・・・・・・・・要冷蔵の医薬品の管理、保管期限